

東彼杵町立千綿小学校

～千綿小食育プロジェクトの取り組み～

「食育は、人、特に子ども達にとっては、人格形成に大きな影響を及ぼし豊かな人間性を育てていく基礎となるものである。」

この基本理念を基に、本校ではこれまでの3年間、PTA 文化委員会の皆さんを中心に「食育プロジェクト」の取り組みを進めて来ました。

各学年でそれぞれの学習に合わせて野菜や作物を選び、育てる。

野菜が実ると、自分たちで収穫し、みんなで調理して食べるという自然な流れの食育活動です。

1年目は、いろいろな方面からの情報を取り入れることとし、手始めに食育に対し知識が豊富な外部の方を講師としてお招きし、5年生児童や保護者を対象に、朝ご飯を摂ることの大切さや低体温の子ども達が増えている実態を教えてくださいました。



2年目は、計画をもとに作物の栽培に取りかかりました。



〈2年生 土作り〉



〈4年生 大豆の収穫〉

大豆の種を蒔き、収穫した後は豆腐作りに挑戦しました。その後は豆腐を使った鍋料理を作りみんなでおいしくいただきました。

いよいよ3年目。プロジェクトの集大成です。平成25年1月20日(日)の「食育フェスタ」に向かって活動が活発化してきました。



1年生が掘ったじゃがいもは給食センターにプレゼントされ、「ホワイトシチュー」になりました。



〈2年生 里芋ほり〉



〈3年生 サツマイモ掘り〉



〈4年生 枝豆の収穫〉



〈5年生 お米作り〉
「食育フェスタ」当日は、5年生が育てたお米で餅つきをして、地域やお家の方にも食べてもらいました。



〈6年生大根・人参掘り〉

このプロジェクトを通して、子ども達は野菜を育てることの喜びと大変さを学び、食べ物に感謝する心が育っています。

今年度は活動の主体を学校に移しました。学級園や畑、田んぼには、今年もたくさんの作物達が順調に育って、みんなが食べてくれるのを待っています。